

竹林の整備を試行!!

平成25年11月17日 安芸高田市立吉田中学校横の竹林にて、竹林の整備を試行しました。平成25年1月16日に行った竹林整備と竹の活用勉強会を経て、実際の作業量、作業時間、発生する竹材の量と質、必要な機材などを確認するために行ったものです。

当日は、雪もちらつく悪天候の中、沖会長を含む10名が約150平方メートルを約3時間かけて整備しました。発生した竹チップの量は約5.5立方メートル（5500ℓ）でした。

午後からは竹チップを使って生ごみを堆肥化する方法を学びました。



整備を試行した市有の竹林

整備作業後の竹林

切り捨てられた竹を撤去しました。さらに、背の低い竹を切って取り除くとともに、背の高い竹を間引いて本数を減らし、明るく見通しのよい竹林にしました。



推定 150 ~ 200 本の竹を処理した後の竹林

整備作業前の竹林

背の高いものや背の低いものなど、たくさんの竹が密集して生えていました。その上切り捨てられた竹が置き去りにされており、うっそうとしたやぶ状になっていました。



竹が密生する作業前の竹林



作業風景



不法投棄されたごみも沢山...

竹を使った生ごみの堆肥化

切った竹をチップ化し、発酵させて生ごみを堆肥化する流れを、里山環境サポートセンターの吉山氏に実演していただきました。



分解された生ごみ

投入した生ごみは数日から2週間で分解され、匂いもなくなります。

発酵した竹チップは、色も黒くなり土の匂いがします。



発酵した竹チップに生ごみを投入

ふるいを通った均一な大きさの竹チップに、もみ殻くん炭、米ぬか、水をまぜて発酵させます。



選別された竹チップ

竹チップをふるいにかけて、小さくなっていないものを除きます。



ふるいで大きなものを除く

切った竹はチップパー（粉砕機）で粉々にしました。



チップパーで砕く

3時間の作業で発生した竹チップの量は約5.5立方（5500ℓ）でした。



チップ化された竹